

伝えたい、戦中・戦後の記憶



援産所で働く戦没者妻たち



義手で働く戦傷病者



肉親捜しの手がかりの写真

撮影：浜ロカシ 提供：(公財)中国残留孤児援護基金



爆撃を受けた銀座三越

戦後世代の語り部

育成事業

第二期 研修生 募集

戦中・戦後を直接体験された方々が高齢となり、当時のことを語り継いでいくことが難しくなっています。

「昭和館」「しょうけい館」「首都圏中国帰国者支援・交流センター」の3施設では、平成28年度から当時の体験と労苦、思いなどを後世に語り継いでいくため、「戦後世代の語り部」の育成事業を行っています。

研修概要

- 平成29年10月以降、月1～2回程度研修（土曜又は日曜を予定）を実施します。
- 1年目：当時の体験を聞き取り、語り部としての基礎知識、話法技術等の習得
- 2～3年目：語り部講話演習、実習によるスキルアップ
- ◎研修修了後は、各施設から委嘱を受け、語り部として講話活動等をしていただきます。

募集対象

- 戦後生まれの方で戦中・戦後の記憶を次の世代に伝える意欲がある方
- 自費で各施設に通所できる方

応募方法

- 募集は裏面の各施設で行います。
- 各施設が指定する応募用紙に記入の上、小論文（1600字程度）を添付し、各施設あてに郵送、又は、Eメールでお申し込みください。
- 応募方法等の詳細は各施設のホームページでご確認ください。
- 応募用紙はホームページからダウンロードできます。

応募期限

平成29年8月5日（土）必着

選考方法

- 応募用紙及び小論文による書面審査と面接により選考します。

各施設の詳細については裏面をご覧ください。

語り部育成事業研修生を募集します



昭和館 語り部

検索

昭和館は、戦没者遺族、親元を離れ学童疎開した子どもたち、空襲により家や家族を失った人々、海外からの引揚者等、戦中・戦後の国民が体験した労苦を次の世代に伝える国立の施設です。

継承内容

戦没者遺族をはじめとする国民が体験した戦中・戦後のくらしの上での様々な労苦を継承。

小論文テーマ

「昭和館を通して次の世代に対して何を伝えるべきか」

募集人員

10名程度

問い合わせ先

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1

電話：03-3222-2577 FAX：03-3222-2575



ホームページ：<http://www.showakan.go.jp>

Eメール：somu@showakan.go.jp



しょうけい館 語り部

検索

しょうけい館（戦傷病者史料館）は、戦傷病者とその家族等が戦中・戦後に体験した様々な労苦についての資料及び情報を収集、保存、展示し、次世代にその労苦を知る機会を提供する国立の施設です。

継承内容

戦傷病者とその家族等が戦中・戦後に体験した様々な労苦を継承。

小論文テーマ

「戦傷病者とその家族等が戦中・戦後に体験した様々な労苦を継承するために大切にしたいこと」

募集人員

10名程度

問い合わせ先

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13

ツカキスクエア 九段下

電話：03-3234-7821 FAX：03-3234-7826



ホームページ：<http://www.shokeikan.go.jp>

Eメール：kataribe@shokeikan.go.jp

首都圏中国帰国者 支援・交流センター

支援・交流センター 語り部

検索

首都圏中国帰国者支援・交流センターは、帰国した中国残留邦人等とその家族が、周囲の人とのつながりの中で、それぞれの世代にふさわしい「自立」を実現できるよう、日本語学習支援、地域での交流事業、生活相談などを行っています。

継承内容

中国残留邦人等が戦中・戦後及び帰国後に体験した様々な労苦を継承。

小論文テーマ

「中国残留邦人等に関心を持ったきっかけと継承への思い」

募集人員

5名程度

問い合わせ先

〒110-0015 東京都台東区東上野1-2-13

カーニープレイス新御徒町7F

電話：03-5807-3171 FAX：03-5807-3174



ホームページ：<http://www.sien-center.or.jp>

Eメール：kikaku@sien.center.or.jp